



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／小野 仁
- 副会長／宮坂宥澄・佐藤有司
- 幹事／山岸邦太郎
- 会報・雑誌・広報委員長／林 尚孝

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F
Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939 ・ URL:<http://okayarc.org> ・ E-mail:okayarc@amber.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2559 回例会 2012 年（平成 24 年）2 月 28 日（火）

点 鐘：小野 仁 司 会：高木昭好
齊 唱：我等の生業 ラッキーNo.：No. 14 牛山幸一

会長挨拶

本来は地区の担当副幹事の部分ですが、まだ決定しておりませんので暫定的に会長ですのでお願いがあります。

先日、島田ガバナーエレクト事務所主催の「PETSと地区協議会の準備会議」に宮坂ノミニーと私（ロータリー財団委員）で出席いたしました。凡そ 80 名が参加して、全体会議・分科会・全体会議・まとめ等の会議でした。この会議は来年の宮坂エレクト事務所が主催するものです。同行した他クラブの方の指摘で、何名か一緒に出席して見学すべきと後悔いたしました。3月25日のPETSは当クラブの主催会議ですので、ご都合のつく方数名のご参加をお願いして、来年に備えたいと思います。宮坂次期会長より依頼がありましたらよろしく願いいたします。

会長報告

- ・笠原祥一会員より会社を定年退職するに伴い、3月末付で退会届が出され、本日の理事会にて承認されました。

幹事報告

- ・IM 3/4(日)13:00～ マリオローヤル会館＝各個人で集合して下さい。
- ・3/6(火)例会はIMの振替休会です。
- ・3/13(火)は総会を開催します。議題は次年度委員会構成についてです。
- ・本日の理事会にて＝富岡RCとの交流に関する会計処理は新しく科目を追加しての処理。今年度のガバナーノミニー関係は会議費、総務費より支出。また、5/6-9の国際大会へ参加の登録費はクラブ負担とします。現在はガバナーノミニ夫妻が参加予定です。まだ間に合います、参加希望の方は幹事か事務局まで申し出て下さい。

委員会報告

社会奉仕委員会 書損じハガキ回収には多くの方にご協力いただき、ありがとうございました。4,440円を送る事が出来ました。ありがとうございました。

国際奉仕委員会 2/16-19 埔里RCへ16名で訪問してきました。午前4時にホテル岡谷を出発して台北の空港に現地時間でお昼少し過ぎに着きました。埔里RCの皆さんが迎えに来てくれました。埔里の地に着きましたら、埔里RCメンバーが待っていてくれました。アジアで一番大きいお寺に案内してもらいました。埔里にはお寺が多くあるそうです。そして例会場に着き大勢の方に大歓迎していただきました。例会の後に懇親会があり、その中で岡谷RCの50周年の時のビデオや写真を見せていただきました。また、二次会でも大いに交流を深めて来ました。3年後には埔里RCが50周年を迎えます。この時には大勢で来ますと約束をして来ました。

また、ドラゴンのお墓参りにも行かせてもらいました。3人の息子さんにも来ていただきました。

帰国の日にも空港までメンバーが見送りに来てくれました。

委員長としては至りませんでした。皆様を支えていただき無事に帰って来ました。ありがとうございました。



寄付贈呈

ニコニコボックスからの拠出金と社会奉仕委員会より合わせて10万円を児童養護施設つつじが丘学園に寄付金を贈りました。



卓話「つつじが丘学園の様子」



児童養護施設つつじが丘学園
園長 川瀬 勝敏 様

本日は歴史と伝統ある岡谷ロータリークラブの例会にお招きいただきありがとうございます。また、会員の皆様には日頃より児童養護施設つつじが丘学園に対しまして様々な面でご支援を頂き、心より感謝申し上げます。

今は施設には41名の子供達がいます。最近の児童養護施設に来る子供達は、親から虐待を受けた子供が多くいます。

施設を利用する子供であっても自立するまでには様々な人の力、あるいは見捨てない心、そして見守ってあげると言う気持ちが必要だと思います。これが仕事と言えどもそう思います。いろんな先生や、機関ともお話をしますが、最後は人間は心であり、気持ちなんだと、それが子供を突き動かすと思います。施設に居る子供達をみていてとても感じます。

学校教育も私どものような児童福祉分野もそうですが、子供の心を打つような事を、我々がやっていってあげる事が子供の精神の自立、強さに結び付いて行くと感じています。

東日本大震災で両親のいずれかを亡くした子供達は約1500人います。その内両親を亡くした子供達は約250名います。今、子供達の多くは里親制度で、養子縁組を祖父母と組んでいます。里親には養育里親、専門里親、養子縁組里親等があります。養子縁組里親を祖父母と結ぶ事によって約14万円の生活費が来ます。応急的な処置とも言えるかもしれませんが、こういう中で震災の遺児達が生活しているのが大半ではないかと思っています。私どもとしても支援をして行きたいと思っています。

施設を利用する子供たちの約半数が虐待を理由に入所してきた子供達です。また、施設で生活する年数は平均で約5年間、長い子は2歳から18歳まで16年間生活した子もいます。

虐待の相談件数はこの20年間増加しています。昨年度は全国で約55,000件の相談件数があったと言われてしています。

虐待の被害を受けた子供達を保護する事が第一です。今の児童養護施設が虐待を受けた子供達の安心できる環境になっているかというと、必ずしもそうではありません。児童養護施設の基準は昭和23年の児童福祉法の制定の戦災孤児収容施設の基準から変わっていません。今の虐待を受けた子供達向けの施設にはなっていません。こうした子供達がここが一番安心できる場所だと思えるようなところを用意してあげないと子供達はより苦しみます。多くの子供達が一緒に生活をしているので子供達同士のトラブルが頻発しています。

子供達が自分で頑張っていこうと思えるような環境が、作れていない事に施設としては苦しんでいます。何とか環境を変えたいと思っています。

タイガーマスク運動が出てきて、児童福祉に少しだけ目が向いてきたところだとは思いますが、高齢者や障害者には制度が充実して来ました。児童福祉については新たな制度や抜本的な見直しは何もされていません。今やっとタイガーマスク運動で国会議員や国、行政も動き始め出していますが、子供達はこの間にも成長して行きます。運動をもっと早くスピーディーに進めるために色々な働きかけを私自身もやって行きたいと思えますし、皆様からのご協力を切にお願いしたいと思います。

そして、今生活している子供達は基本的に岡谷市に生活をし、岡谷市の学校に通い、多くが岡谷市の企業に就職するといった岡谷市の子供達です。子供たちにとっ

て第二の故郷としてここに居て良かった、郷土に対する愛情や人に対する感謝の気持ちをつつじが丘学園に来て、いろいろな人と関わる中で学んだという思いを持った子供達は、必ず社会に対しても優しい目を向けるはずです。親がその役割を担わないのであれば、誰かが担ってやれば良いわけです。施設も職員も一生懸命やっておりますが、まだまだ人的、環境的、財政的にも非常に厳しいところでもあります。皆様のご支援を賜ればと思っております。

今、つつじが丘学園としても虐待の重い子供達に対して小規模グループホームの設立を考えております。これは学園の近くの借家を利用して、子供6人と職員と生活をして行きながら、人間関係の回復を図ることを考え、子供達に専門的に関わることを考えながらも、家庭的ケアを行い、生活環境をより良くして行きたいと考えております。今後とも皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

ニコニコボックス

井上保子・牛山幸一・太田博久・小口成人・小口雅弘・小口泰史・小野 仁・笠原新太郎・北澤洋之介・北村正春・小松正二・佐藤有司・杉田隆夫・瀬戸雅三・高木昭好・中嶋孝一・中村文明・濱 透・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・藤森睦美・宮坂 伸・宮坂宥洪・宮坂宥澄・宮澤由己・矢島 進・矢島 實・山岡正邦・山岸邦太郎
つつじが丘学園川瀬勝敏園長様、ようこそいらっしゃいました。将来を担う子供達の為にいつもありがとうございます。

竹村一幸・濱 俊弘・山岡晴男・小野 仁 埔里ロータリークラブ訪問の写真を宮坂宥洪さんより戴きました。

宮坂宥洪・宮坂宥澄 創業記念日にかえて。

出席報告

会員数46名、出席者35名、出席率79.55%、前々回訂正80.95%

2011-2012年度RIテーマ
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために
Reach Within to Embrace Humanity

